

# 例 言

1. 本書は、2013（平成25）年度大阪大谷大学文化財学科（現歴史文化学科）公開講座「他界観—東西文化が紡ぐ「あの世」のイメージ」（於：大阪大谷大学、2013（平成25）年10月26日（土））の報告内容および関連する研究成果をおさめた論集である。
2. 公開講座「他界観」の報告者および当日の報告題名は以下の通りである（報告順）。

犬木 努「古墳時代の他界観」

田中健一「古代仏教美術にみる浄土のイメージ」

梯 信暁「地獄絵の世界—聖衆来迎寺「六道絵」と『往生要集』」

今井澄子「西洋のキリスト教美術にみる「他界」」
3. 当日の報告者にくわえて、藤澤典彦氏に寄稿していただいた。
4. 公開講座の企画および本書の編集は、犬木 努・今井澄子・田中健一が担当した。